## Sildous vol. 4 rows

We've twice had heavy snow here and it's been so cold. I'm afraid I often oversleep and get ticked off.

When the weather's like this I can't help thinking about all the homeless cats and dogs wandering around looking sad. At ARK we always have something to eat, can go for a walk and play with each other. Some of us are lucky to be adopted by caring people to become even happier.

However we are aware that the numbers of these unhappy cats and dogs is far greater than those in our small community. One dog that came to ARK from the earthquake area said that he'd been given up by his owner who was unable to even get a room in a temporary housing unit, others have come from similar units which prohibit pets. How cruel humans are to prevent us from living with our families, especially in such tragic circumstances. How can humans contemptuously call us 'animals' when their behaviour is worse than animals?

We often feel pity for our companions who can't join us at ARK. ARK existed before the Earthquake and as I've told you before, I myself was rescued and brought here. Earthquakes are things humans can't control. When they happen, they happen. Some dogs at ARK have told me awful tales: some of them were taken deep into the mountains and abandoned there. At first they thought it was some sort of game but after a while they noticed something was wrong. In panic they ran after the disappearing car only to find it had gone. It was indeed this dog's own family that had committed this atrocity. We usually try to console these victims by explaining that the reason for their owner's action is probably because pets are not allowed at the new place the family are moving to or that the family never realised that pupples or kittens grow up. This kind of talk makes us all very sad. Dogs dumped from cars still get excited when they see a car similar to their former owner's. Their face drops when they realise of course it's not. It makes me cry to see their hopes dashed. At ARK there are many with stories like this and nearly all of them say they have nightmares. I can no longer understand human thinking. It's probably only me who thinks we are all members of one family, but humans dump us < so-called 'family members' > so casually.

As I said last time, people buy pupples and kittens in pet shops saying "how cute." We are not THINGS! But these same people later dump their "cute pets." The things people do are unbelievable. When I first found out what happens to the puppies and kittens that remain unsold in pet shops, I lost my appetite for days. Even as I play around in the snow my mind is still on miserable homeless colleagues wandering around alone. Your thoughts at this time may well be on a skiing trip but please keep the plight of homeless animals in mind. You must have seen on a bitterly cold day a dog with a sad expression wandering around the town looking hopefully at every person for a piece of bread they may have in their hand. Next time you see such a dog remember that although he is starving to death he forgets his hunger when he thinks that possibly you may be his long lost family.

オフレコ トークー

チョビ:だんだんまともなことがいえるようになっ てきました。悲しい話だったけれど、

してどうしても知ってほしいぼくらの気持

編集部:チョビの犬の立場からならではのこの話は、 部の「動物愛好家」に読んでいただく必 要がありそうです。

## いいたい放題 チョビせんせい 第4回

ぼくはふつうの学校にも犬の訓練所にも行ったことが ないし、だから字も書けないんだけど、犬にも主張が あるっていうことを人間に知ってもらいたいと考えて いたところへ、聞き書きをしてくれるっていうんで、 ふだん言い切れないことをこのコラムで言おうと思う。

寒いですねー。能勢のあるアーク (#1) はもう2回もたくさん重がつもり ました。ぼくは雪のなかを走り回るのが大好きですが、お昼はいいのです。 アークの他の犬君たちが朝早く起きて雪を見て騒いでいたときも、ぼくだ けまだ寝ていたんです。犬として恥ずかしくないのっていわれるけど、寝 すぎて恥ずかしいから、見られないようにそのまま寝ていただけなんです。

こんな寒いときには、あ一今もどこかで家のない犬君・猫君たちがお腹 をすかせて、悲しい顔をして歩きまわってるんだろうなって考えてしまい ます。アークにいるぼくらは、ちゃんとご飯を食べて、散歩にも行って、 仲間の犬君たちといつしょに遊んだりできるし、もし明日いい里親のとこ **ろで住むことになったら、もっと幸せになるかも知れません。でもねー、** どう考えたってこんな悲しい大君・猫君たちの方が、アークにいるぼくた ちよりずっと多いでしょう。地震のところから来た大君は、仮設とかいう のにもはいれない人のところからアークに来たといってましたし、その何 設とかに入っても動物がいけないといわれて、しかたなくここに来た犬狐 猫君もいます。あのみんなつらかつたときに、ずつと人間といっしょに生 活してきたぼくらに、もういつしょに住んだらダメだなんて、ほんとに人 間ってひどいなって思う。ほんとうに人間も動物なんですかー?だからア ・クにいるぼくらは、ここにも来れない犬君や猫君たちに、ほんとうに悪 いなって気持ちがするのです。

アークはあの地震の前からあったんですよ(みなさん知ってますよね)。 前にいったし漫画でも紹介したように (#2)、ほくも北の方の香住町という とこ3のバイパスでゴミ箱をあさってるとこ3を保護されて、アークに来 たんです。ここかできてしばらくのころだったけれど。でもその前のこと は小さかったのではっきりおぼえてません。地震は、何というのかなー 人間がするものじゃないから、まぁしようがないとしても、アークに来た 犬君・猫君たちのなかには、車で山のなかに連れて行かれて、そこに置い てかれたっていう人(セ゚ミ)もいるんですよ。初めは遊びかなと思ったりして、 変だなと気がついて必死になって追いかけたけど、もういなかったんだって。いっしょに暮らしていた家族がですよ。アークに来てからここの犬君 や猫君たちにきいて、それが引越して行く所では「犬・猫ダメ」とか、小 犬とか小猫だと家族が思っていたら大きくなったから、とかいうんで捨て られたんだつて分かるんです。そしたらまた悔しくて悲しくて、話してい てみんなで泣いてしまつんです。そんな犬君・猫君たちは今でも似た車が 近づいて来たら、あ一迎えに来てくれたんだとか思ってね、そのたびに減 うと分かってほんとにがっかりするんだって(なんかぼくも涙が出てきま した)。アークにはそんな仲間がたくさんいるけど、こうやって昔の話を して泣いて、みんなまだ夢に見るっていってます。それにしても、ぼくら が家族だと思っていても、人間は家族のぼくらをどこかに捨てて 置き去りつてゆう別のひどいことばがあるんですか― その置き去りにし たり、小犬や小猫が大きくなるのを知らなかったり、ぼくは人間のことが よくわかりません。

前にもいったように、「かわいー」とかいってペットショップで小犬・ 小猫ちゃんを買っても 一ぼくらは物ではないんだけどな― 飽きたら捨 てる人もいるらしいです。ほんとに困るな一、人間って。それに、そのか わいい小犬ちゃん、小猫ちゃんたちが売れ残ったらどうなるか、ぼくは― 度それを聞いて二三日ご飯が食べられませんでしたよ。

ぼくらは雪のなかで遊んでいても、いつもこんな可哀想な仲間のことを 考えています。スキーというんでしよ、雪で滑るやつ。そうやって遊んで いても、人間も大事なこと考えてほしいです。寒いとき街のなかを悲しい 顔をしてうろうろしている犬君が、人間が手に持ったパンをじっとほしそ うにしているのを見かけたことがあるでしょう。今度見たときは、そんな 大君はお腹がぺこぺこだけど、やつと昔の家族に会えたんだと思って、ほ つとしているのかも知れないって考えてください。

注1:「アークのある能勢」の間違いか。 注2:ニュースレター22号(1996年)、ニュースレター19号(1995年) 注3:チョビは大・猫たちに対して、ときどき「人」という言葉を使うか、 人間の彼らへの低い認識へのせめてもの抗議だという。

速記:冬野

アーク アニマル・レフュージュ・カンサイ 〒563-01 大阪府豊能郡能勢町野間大原595 Tel 0727-37-1885 (0712) Fax 0727-37-1645 e-mail arkbark@wombat.or.jp